

(一財)自治体国際化協会 ロンドン事務所 マンスリートピック (2015 年 10 月)

【2016 年のロンドン市長選について ～ 現職市長は再出馬せず、新市長が誕生へ】

2016 年 5 月 5 日、5 回目のロンドン市長選挙が実施される。ロンドン市長は、「1999 年グレート・ロンドン・オーソリティー法 (Greater London Authority Act 1999)」によって、2000 年に設置された。任期は 4 年で、これまで、2000 年、2004 年、2008 年、2012 年に選挙が実施されている。

同法は、ロンドン市長を置くと共に、定数 25 人のロンドン議会と、ロンドン市長とロンドン議会から成る「グレート・ロンドン・オーソリティー (GLA)」を、グレート・ロンドン<sup>1</sup>の地域政府として設置した。ロンドン議会議員の任期も 4 年であり、ロンドン議会選挙は、ロンドン市長選と同日に実施される。

ロンドン市長に選出されるためには、英国、アイルランド、英連邦加盟国または EU 加盟国の市民権を持っていること、18 歳以上であること、少なくとも過去 12 ヶ月間、グレート・ロンドンに住んでいるか、グレート・ロンドンで働いていること、その他の理由で選挙に出馬する資格を失っていないといった条件を満たす必要がある。

ロンドン市長選に出馬する候補者は、1 万ポンドの供託金を納めなければならない。供託金は、選挙で 5%以上の得票率を獲得した場合のみ、払い戻しされる。さらに、グレート・ロンドン内の 32 区及びシティ・オブ・ロンドンの管轄区域の全てにおいて、少なくとも 10 人の有権者から推薦を受けなければならない。

ロンドン市長選の投票方法は、「補足投票制度 (Supplementary Vote System)」である。「補足投票制度」において、有権者は、最も当選してほしい候補者 (第 1 候補) と、2 番目に当選してほしい候補者 (第 2 候補) を指定し、投票する (第 1 候補しか指定したくない場合は、第 2 候補を指定しなくてもよい)。集計では、まず第 1 候補に投じられた票を合計し、過半数を超える候補者がいれば当選となる。過半数を超える候補者がいない場合は、第 1 候補への投票の集計で上位 2 位までに入らなかった候補者を全て落選させる。次に、落選した候補者を第 1 候補に選んだ票で、上位 2 者のいずれかを第 2 候補に選んだ票を、上位 2 者が第 1 候補として得た票数に加算し、より多くの票を得た方が当選となる。

ロンドン市長の給料は、2015/16 年度で 143,911 ポンドである。ボリス・ジョンソン現ロ

---

<sup>1</sup> 「グレート・ロンドン」は、「1963 年ロンドン政府法 (London Government Act 1963)」のもと、それまで設置されていた「ロンドン市 (County of London)」に、隣接する複数の県の一部またはほぼ全域を統合し、1965 年に創設された。

ンドン市長は、2009年以降、給料の引き上げを辞退している。

ジョンソン現ロンドン市長は、2008年のロンドン市長選で初当選し、2012年に再選を果たした。しかし、2015年5月の総選挙で下院議員に当選したため、2期目の任期満了を持ってロンドン市長の職からは退く意向を表明しており、2016年の選挙では、新しいロンドン市長が誕生することになる（ジョンソン現ロンドン市長は現在、市長と下院議員を兼任している）。

下記は、ロンドン議会に議席を有する4政党から2016年のロンドン市長選に出馬する公認候補の一覧である。

政党	公認候補	年齢	経歴	公認候補の選出方法
保守党	ザック・ゴールドスミス	40	2010年～現在 下院議員。選挙区はロンドン南西部の リッチモンド・パーク	党員以外も投票できる「開放型予備選挙（open primary）」の形式で2015年9月に決定。保守党員でなくとも、グレーター・ロンドン内で選挙人登録されており、この予備選挙で投票するため同党に登録した人は、票を投じることができた。投票はインターネット上で実施。
緑の党	シャーン・ベリー	41	2006～2007年 緑の党共同代表 2008年 緑の党の公認候補としてロンドン市長選に出馬 2014年～現在 ロンドン・カムデン区議会議員	グレーター・ロンドン在住の党員による投票で、2015年9月に決定。
労働党	サディーク・カーン	45	1994～2006年 ロンドン・ワンズワース区議会議員 2005年～現在 下院議員。選挙区はロンドン南西部の トゥーティング 2008～2009年 コミュニティ・地方自治担当政務次官	保守党と同じく、「開放型予備選挙」で2015年9月に決定。労働党員でなくとも、グレーター・ロンドンで選挙人登録されており、同党に支持者として登録した人は、票を投じることができた。インターネット上及び郵送で投票を受け付けた。

			<p>2009～2010年 交通担当閣外大臣</p> <p>2010年5月～2010年10月 影の交通大臣</p> <p>2010年10月～2015年5月 影の司法大臣</p>	
自由民主党	キャロライン・ピジョン	43	<p>1998～2010年 ロンドン・サザーク区議会議員</p> <p>2008年～現在 ロンドン議会議員</p>	<p>グレーター・ロンドン在住の党員による投票で、2015年9月に決定（公認候補の最終候補に残ったもう一人の候補者が立候補を撤回したため、ピジョン氏をそのまま公認候補としてよいかどうかを確認する投票が行われ、これが認められた）。</p>